



地域再生 協議会だより

百合が丘2-29-6 (老人憩いの家) 59-9356 (火・金午前) isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp

一色小こうりゅう R・連続講座

「もっと知ろう 一色・二宮」

9月から、全講師ほぼ固まる

学校連携部会 (山本正博部会長) は9月から、連続講座「もっと知ろう 一色・二宮」をスタートさせる。一色小南棟に開設した地域こうりゅうルームを拠点に、文化、歴史分野の識者10人超に講師を依頼し、一色地区や二宮について深く学ぶ狙い。新講座は年度内に完成する一色里山散策路の案内ガイドの養成を兼ねているが、町内全域から幅広く受講者を募りたいとしている。

同部会は今春から月1ペースで「地域こうりゅう塾」を始めており、今度の企画はそれをさらに発展させた。9月15日(土)の中山史奈子さん(町生涯学習課・文化財担当)の二宮町の全指定文化財紹介を皮切りに、月2回(原則第1、第3土曜、10時-12時)ペースで開催する。年内について下記の通り予定が固まった。(裏面へ)

<日程・講師・テーマ>

- ・9/15(土) 中山史奈子さん(町生涯学習課・文化財担当)
解説・二宮町の全13指定文化財
- ・9/29(土) 鈴木一男氏(町文化財保護委員、元大磯町郷土資料館長)
大磯・二宮の横穴墓群—その造りと副葬品
- ・10/14(日) 露木泰彦氏(町文化財保護委員) 二宮・一色の古道
- ・10/20(土) 相澤るつ子さん(画家) 戦時下の二宮の子供たち
- ・11/10(土) 中山史奈子さん 東海道線と軽便鉄道がもたらしたもの
- ・11/17(土) 森丹山・浄源寺住職 浄源寺の歴史遺産(現地集合)
- ・12/1(土) 島崎直人氏(郷土史家、町文化財保護委員)
一色の歴史と文化遺産
- ・12/22(土) 斎木邦弘氏(二宮野鳥の会顧問) 渡り鳥の越冬地二宮



中山史奈子さん



鈴木一男氏



露木泰彦氏



相澤るつ子さん



森丹山住職



島崎直人氏



斎木邦弘氏

このほか、松本岩太郎氏(グリーンにのみやプロジェクト、二宮の石仏)、石井敬士

氏（元県立図書館調査部長、二宮ゆかりの文化人）、橘川卓司氏（町文化財保護委員、一色の今昔）、岡村昭寿氏（再生協議会会長、百合が丘ニュータウン開発）などの方からの内諾を得ており、来年3月までこのシリーズが続く見通し。



松本岩太郎氏



橘川卓司氏



岡村昭寿氏

応募 59 名——一色小プログラミング講座

一色小のコミュニティスクール活動として計画したプログラミング体験講座の応募者が59名に達した。5月末に締め切ったところ1-3年生が39名、4-6年生が20名。対象を一色小生に限定し、終了後の保護者付添いを受講条件に募集した。一色小生の約3割が受講することになる。開催日は6月11日（高学年）、20日（低学年）。主催する再生協議会、二宮ITクラブでは、今回の状況などを把握しながら、レベルを上げた講座、保護者やシニア向けプログラムについても検討していく。

「課題を聞きながら手伝う」——村田町長語る

村田邦子町長は5月26日（土）、地域こうりゅう塾で講演した。テーマは「再生協議会への期待と注文」。初めに再生協議会の活動ぶりなどについて語った後、40人弱の参加者と質疑、意見交換を行った。主な発言は以下の通り。

・協議会は今年3年目を迎えるが、当初想定した以上の活動ぶりだ。もともと活発な活動基盤のある地域とはいえ、一步先んじた意識、行動力の成果だと思う。今後も町づくりの課題を聞きながら、手伝っていきたい。

・定住人口は大事だが、定住につながる交流人口を増やしていくことが重要だ。他の地区、町外、県外から、幅広い世代に来て交流してもらいたい。そのために面白い活動などのPRに力を入れる必要がある。

村田町長



邦楽とお茶の集い——90人が憩う



お茶をいただきながら憩うひと時

緑風そよぐ5月27日（日）、ふるさとの家で邦楽とお茶の集い（文化イベント振興部会主催）が開かれた。午後1時から呈茶が始まり、雅楽・川句神社雅楽保存会、尺八・森丹山浄源寺住職、箏・城処みやこさん、大正琴・亜華音会が次々に登場。これだけの邦楽メンバーが揃うのはめったにないだけに、会場は約90人の参加者であふれた。小林宗紀さん中心の茶道の方々は大忙しだった。